

Canon

RF

28-70mm F2.8 IS STM

使用説明書

JPN

キヤノン製品のお買い上げ誠にありがとうございます。

キヤノン RF28-70mm F2.8 IS STMは、EOS Rシリーズカメラ用の標準ズームレンズです。

- ISはImage Stabilizer（手ブレ補正機能）の略称です。
- STMはStepping Motor（ステッピングモーター）の略称です。

本文中のマークについて



撮影に不都合が生じる可能性のある注意事項などが書いてあります。



基本操作に加えて知っておいていただきたい事項が書いてあります。

カメラのファームウェアと カメラアプリケーションについて

お使いのカメラのファームウェアと、対応したカメラアプリケーションは最新のバージョンにしてください。それらの最新バージョンの有無やアップデート方法については、キヤノンのホームページで確認してください。



カメラ*のファームウェアが対応したバージョンでない場合、次の制限があります。

- 拡大表示できません。
- その他、カメラの動作に不具合が生じることがあります。

* 次のカメラにおいて
EOS R、EOS RP

安全上のご注意

安全に使っていただくための注意事項です。必ずお読みください。お使いになる方と他の人々への危害や障害の発生を防ぐためにお守りください。



警告

死亡や重傷を負う可能性がある内容です。

- レンズを通して、太陽や強い光源を直接見ないでください。失明の原因となります。
- レンズキャップを取り付けていないレンズを、日光下に放置しないでください。レンズに入った太陽光が集まり、故障や火災の原因となります。



注意

傷害や、製品以外の物的損害を負う可能性がある内容です。

- 製品を高温や低温となる場所に放置しないでください。製品に触れるとやけどやけがの原因となります。
- 製品の内部には手を入れないでください。けがの原因となります。

一般的なご注意

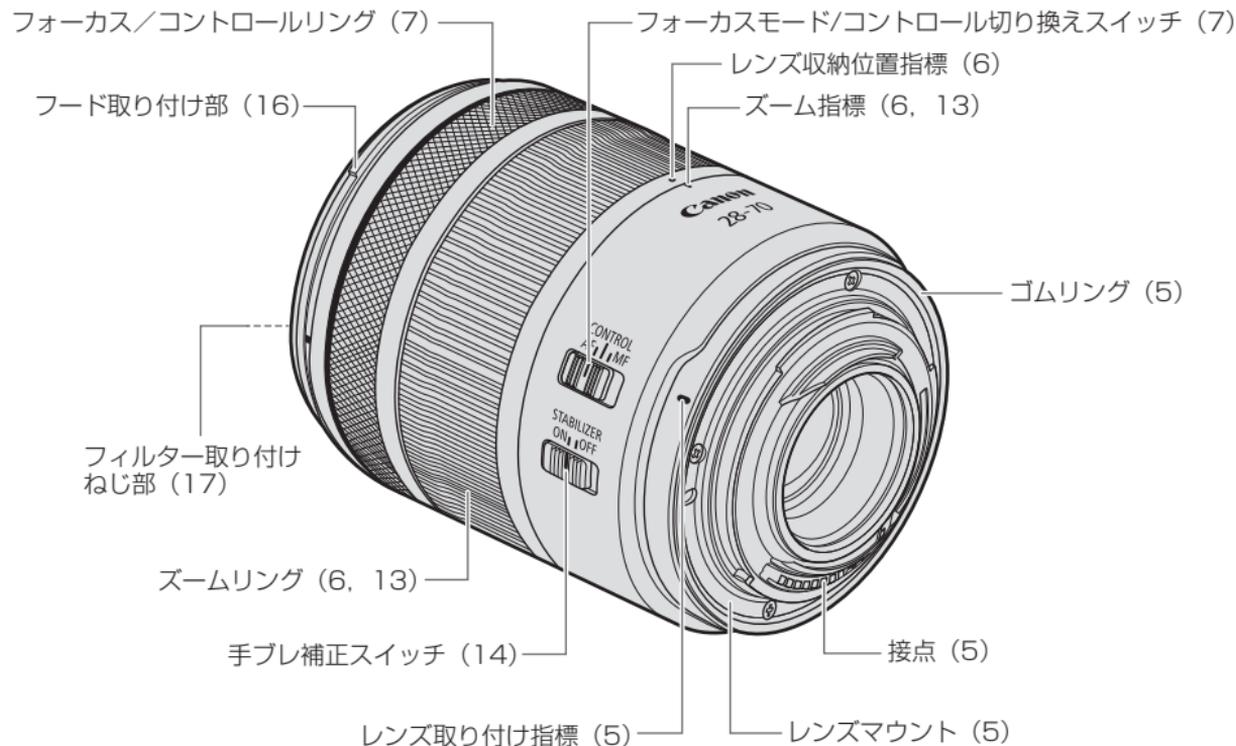
取り扱い上のご注意

- 日光下の車の中など、高温となる場所に製品を放置しないでください。故障の原因となります。
- レンズを寒い場所から暖かい場所に移すと、レンズの外部や内部に水滴が付着（結露）することがあります。そのようなときは、事前にレンズをビニール袋に入れて、周囲の温度になじませてから、取り出してください。また、暖かい場所から寒い場所に移すときも、同様にしてください。
- 適切な絞り制御のため、絞り優先AEやマニュアル露出などの絞り数値を指定した撮影時であっても、ズームやピント合わせによって絞り羽根が動くことがあります。
- カメラの使用説明書の取り扱いに関する記載もご覧ください。

撮影上のご注意

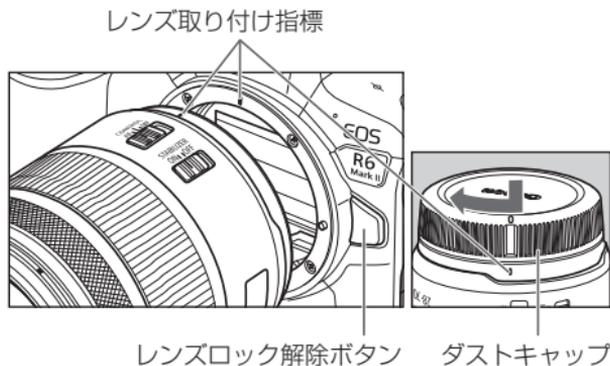
- オートパワーオフ状態から復帰したときは、ピント合わせを再度行ってください。
- 撮影準備状態でピント位置を保持するときは、カメラの設定で「オートパワーオフ」を「しない」に設定してください。

各部の名称



● (**) の ** 部は参照ページを示しています。

1. レンズの取り付け／取り外し



レンズの取り付け方

レンズ側とカメラ側のレンズ取り付け指標を合わせ、レンズを時計方向に「カチッ」と音がするまで回します。

レンズの取り外し方

カメラのレンズロック解除ボタンを押しながら、レンズを反時計方向に回します。回転が止まるまで回してから取り外します。

詳しくはカメラの使用説明書をご覧ください。

- レンズの取り付け/取り外しを行うときは、カメラの電源スイッチをOFFにしてください。
 - レンズを取り外す前に、レンズキャップを取り付けてください。
 - レンズを取り外したときは、接点やレンズ面を傷つけないように、レンズマウント側を上にして置き、ダストキャップを取り付けてください。ダストキャップを取り付けるときは、レンズ側とダストキャップ側の取り付け指標を合わせてください。
 - 接点に傷、汚れ、指紋などが付くと接触不良や腐食の原因になり、動作不良を起こすことがあります。汚れなどが付いたときは、柔らかい布で接点を清掃してください。
 - 防じん・防滴性能の向上のために、このレンズではレンズマウントにゴムリングが付いています。このゴムリングにより、カメラのレンズマウント周辺に細い擦れ跡が付くことがありますが、使用上の問題はありません。
- ゴムリングはキヤノンサービスセンターで交換できます。(有料)

2. 撮影の準備とレンズの収納

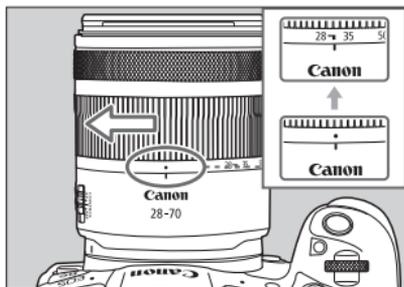
このレンズは収納機構を備えています。

収納状態では撮影状態よりもレンズの全長を短くすることができます。

収納状態では撮影ができません。

撮影をするときは次の手順で撮影準備位置にセットしてください。

収納状態からの撮影の準備



ズームリングを白い矢印の方向に「カチッ」と音がするまで回して撮影準備位置にセットします。

- レンズ収納位置指標とズーム指標が合っているときは、やや力を加えてズームリングを矢印の方向に回してください。

レンズの収納

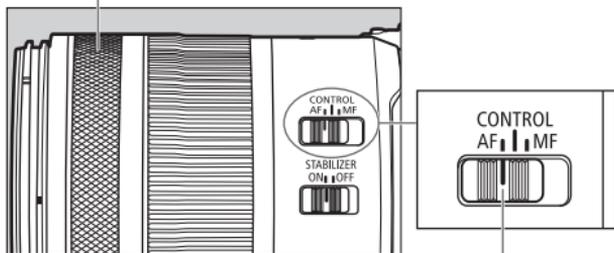
- 1 撮影状態からズームリングを白い矢印の逆方向に回します。
- 2 ワイド端（28mm）を越えて更に回します。
- 3 端まで回し、レンズ収納位置指標とズーム指標を合わせて収納します。

- レンズの収納時、レンズの繰り出し部とレンズ本体の間に指などをはさまないように注意してください。

3. フォーカス / コントロールリング

フォーカス/コントロールリングは、フォーカスリング、もしくはコントロールリングとして使うことができます。

フォーカス/コントロールリング



フォーカスモード/コントロール切り換えスイッチ

フォーカスリングとして使う

フォーカスモード/コントロール切り換えスイッチをAFもしくはMFにします。

オートフォーカス (AF) で撮影するときは、フォーカスモード/コントロール切り換えスイッチをAFにします。表*1

マニュアルフォーカス (MF) で撮影するときは、フォーカスモード/コントロール切り換えスイッチをMFにし、フォーカスリング (フォーカス/コントロールリング) を回してピントを合わせます。表*2

表：フォーカスモード/コントロール切り換えスイッチの操作によるフォーカスモードとフォーカス/コントロールリングの機能一覧

	フォーカスモード/ コントロール切り換えスイッチ		
	*1 AF	*3 CONTROL	*2 MF
フォーカスモード*	AF	*4 AF/ *5 MF	MF
フォーカス/ コントロールリング の機能	フォーカス リング	コントロール リング	フォーカス リング

コントロールリングとして使う

フォーカスモード/コントロール切り換えスイッチをCONTROLにします。表*3

コントロールリングの機能はカメラ側のメニューで設定します。シャッター速度や絞り数値の設定など、カメラでよく使う機能を割り当てることができます。

コントロールリングの使い方について、詳しくはカメラの使用説明書をご覧ください。

フォーカス / コントロールリング

- フォーカスリング（フォーカス/コントロールリング）を急回転させた場合、ピント合わせが遅れることがあります。
- フォーカスモード/コントロール切り換えスイッチをCONTROLにすると、フォーカスモードはAFに固定されます。表*4
ただし、使用するカメラにより、カメラ側でフォーカスモードをMFに切り換えることができます。表*5
詳しくはカメラの使用説明書をご覧ください。



- このレンズのフォーカスリング（フォーカス/コントロールリング）は電子式です。
- 電子式フルタイムマニュアルフォーカス対応のカメラでは、カメラ操作可能な状態で、マニュアルフォーカスができません。ただし、カメラの設定変更が必要です。
- カメラのAF動作がワンショットAFのとき、AFのあとシャッターボタン半押し状態で、マニュアルフォーカスができません（電子式手動フォーカス機能）。ただし、カメラの設定変更が必要です。
- 動画撮影時は、静止画撮影時よりもAFが遅くなります。動画サーボAFを [する] に設定すると、カメラ側でAF速度の調整を行うことができます。

詳しくはカメラの使用説明書をご覧ください。

4. マニュアルフォーカス (MF) を使ったクローズアップ撮影について

このレンズは、ワイド端から焦点距離64mm未満の範囲で、フォーカスモードを [MF] にすると [AF] の時よりもさらに被写体に近づいて大きく撮影できます。

ワイド端での撮影距離範囲は次のようになります。

- 【AFでピントが合う範囲】：0.27m～∞
- 【MFでピントが合う範囲】：0.24m～∞

0.24m以上0.27m未満の範囲は、MFでのみピントを合わせることができます。【MF専用範囲】

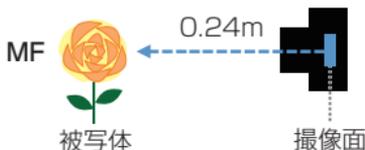
- ワイド端から焦点距離64mm未満の間で【MFでピントが合う範囲】は変化します。
- ワイド端以外の撮影距離範囲は、18ページの主な仕様をご覧ください。

- 撮影距離とは、カメラ上面の [] (撮像面マーク) から被写体までの距離のことです。

ワイド端での例



AF



MF

マニュアルフォーカス (MF) を使ったクローズアップ撮影について

【MF専用範囲】で撮影をするには次の手順で操作します。

- 1 フォーカスモード/コントロール切り換えスイッチを [MF] にします。
- 2 ズームリングで焦点距離を64mmよりワイド側に設定します。
- 3 フォーカスリングを至近方向に回し、ピント位置を【AFでピントが合う範囲】から【MF専用範囲】に移動させます。(*注記1,2)
- 4 【MF専用範囲】で被写体にマニュアルフォーカスでピントを合わせて撮影します。

注記1 フォーカスモードが [MF] のときのみ【MF専用範囲】でピントを合わせることができます。
フォーカスモードが [AF] のときは、【MF専用範囲】でピントを合わせることができません。

注記2 フォーカスモードを [MF] から [AF] に切り換えると、ピント位置は【AFでピントが合う範囲】の至近側へ自動的に移動します。

マニュアルフォーカス（MF）を使ったクローズアップ撮影について

- ④ 【MF専用範囲】にピント位置があると次の制限事項があります。
 - 【AFでピントが合う範囲】よりも画質が低下します。撮影後の画像を確認しながら撮影することをおすすめします。
 - EOS Rに装着した場合、フォーカスガイド機能の検出精度が低下します。フォーカスガイド機能は【AFでピントが合う範囲】でお使いください。
 - パソコンやスマートフォンからのリモート撮影でピント合わせの操作はできません。

7ページの表*5のMFに設定した場合を除き、【MF専用範囲】にピント位置があると次の制限事項があります。

- フォーカスモード/コントロール切り換えスイッチを [CONTROL] に切り換えても、フォーカスモードは [AF] が動かず、またこのときリングの機能はコントロールリングになっているためマニュアルフォーカスもできません。したがってフォーカスレンズを動かしてピント調整をすることはできません。
- 【MF専用範囲】にピント位置があるときに [CONTROL] に切り換える場合は、次の手順で行ってください。 [CONTROL] に切り換えたあとAFでピントを合わせることができます。
 - ・ フォーカスリングを無限遠方向に回し、ピントの位置を【MF専用範囲】から【AFでピントが合う範囲】に移動させたあと、[CONTROL] に切り換えます。
 - ・ または、フォーカスモード/コントロール切り換えスイッチを [MF] から [AF] に切り換えたあと、[CONTROL] に戻します。

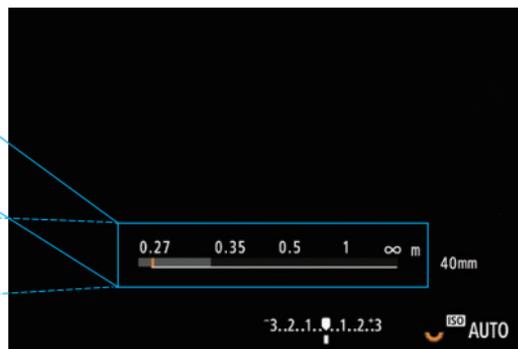
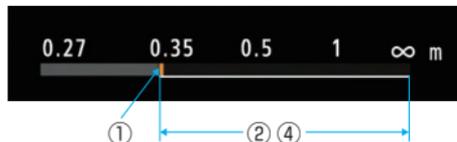
マニュアルフォーカス (MF) を使ったクローズアップ撮影について

カメラの撮影距離表示機能*1を使ってピント位置を確認することができます。

焦点距離40mmでの撮影距離表示 (イメージ) カメラモニターの表示 (イメージ)



テレ端での撮影距離表示 (イメージ)



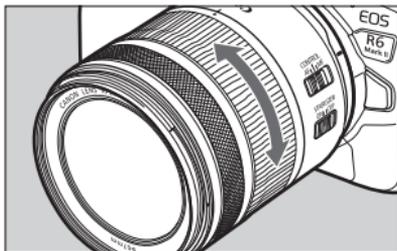
左上のイラストは、カメラの撮影距離表示部分*2を拡大して示したイメージ図です。

- 左側が至近方向、右側の∞マークが無限遠方向を表しています。
- ①のオレンジ色の縦線は、現在のピント位置を表しています。
- ②の白線の範囲は、撮影可能なピント位置の範囲を表しています。
- ③の範囲は、[MF] でのみピントを合わせることができる【MF専用範囲】です。
- ④の範囲は、[MF] と [AF] でピントを合わせることができる範囲です。
[AF] では④の範囲のみピントを合わせることができます。

*1「撮影距離表示」の表示方法はカメラの使用説明書をご覧ください。

*2【AFでピントが合う範囲】と【MFでピントが合う範囲】は、焦点距離によって変化するため撮影距離の表示状態も焦点距離によって変化します。

5. ズーミング



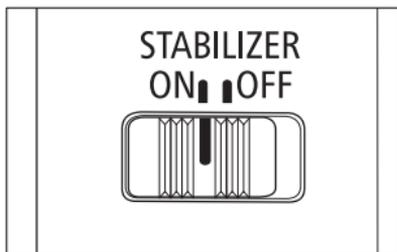
ズームリングを手で回してズームします。

最短撮影距離：焦点距離により最短撮影距離が変化します。

焦点距離	最短撮影距離	撮影倍率
28mm	0.27m	0.16倍
35mm	0.32m	0.15倍
50mm	0.35m	0.18倍
70mm	0.35m	0.24倍

- ピント合わせはズームしたあとで行ってください。ピントを合わせてからズームすると、ピント誤差が生じることがあります。
- 近くの被写体にピントを合わせてからズームすると、ピントが合わないことがあります。その場合は、被写体から離れてピントを合わせなおしてください。
- ズームリングを急回転させた場合、一時的にピントがボケることがあります。
- ズーミングのとき、ズーム繰り出し部とレンズ本体の間に指などをはさまないように注意してください。

6. 手ブレ補正機能



手ブレ補正機能を使用するときは、手ブレ補正スイッチをONにします。

- 撮影状況（静止した被写体の撮影、流し撮りなど）に応じた手ブレ補正を行います。
- ボディー内手ブレ補正機構搭載のカメラと組み合わせると協調制御を行います。
- 手ブレ補正機能を使用しないときは、手ブレ補正スイッチをOFFにします。

- ❗ ● 被写体が動くことによって生じるブレは補正できません。
- 大きく揺れ動く乗り物から撮影するときは、手ブレ補正効果が十分に得られないことがあります。
- 三脚を使用した場合は、三脚の種類や設置条件および装着するカメラのシャッタースピードの設定などにより、手ブレ補正の効果が十分に得られない場合や、手ブレ補正スイッチをOFFにした方がよい場合があります。
- 一脚を使った場合も手ブレ補正は働きますが、撮影条件によっては補正効果が十分に得られないことがあります。

手ブレ補正機能

このレンズの手ブレ補正は、次のような条件の手持ち撮影に適しています。



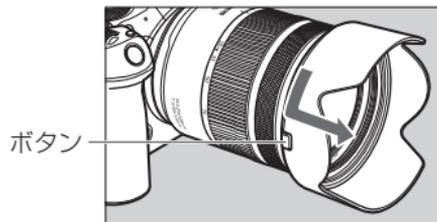
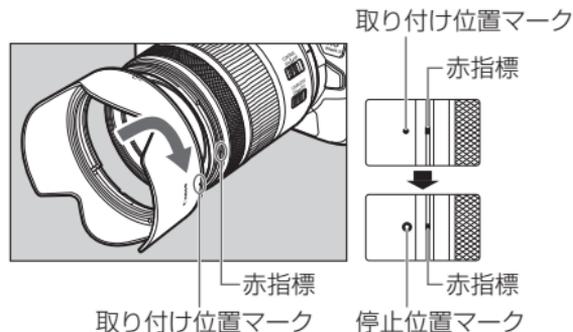
- 夕景や室内など、薄暗い場所
- 美術館や舞台など、ストロボが使えない場所
- 足場が不安定な状況
- その他、速いシャッター速度が使えない状況



- 自動車や鉄道などの流し撮り
水平方向の流し撮りのときは上下方向の手ブレ、垂直方向の流し撮りのときは左右方向の手ブレを補正します。

7. フード（別売）

専用のフードは、不要な光をさえぎるとともに、雨・雪・ほこりなどからレンズ前面を保護します。



フードの取り付け方

フードの赤い取り付け位置マークとレンズ先端にある赤指標を合わせ、フードを矢印の方向に「カチッ」と音がするまで回します。

フードの取り外し方

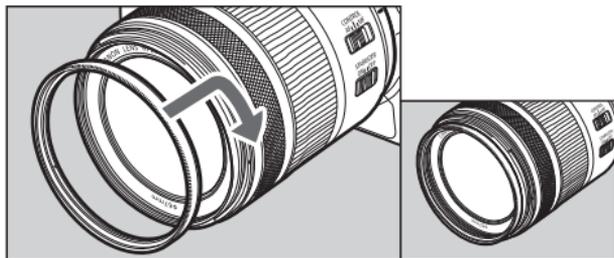
フードの側面にあるボタンを押しながら、フードの取り付け位置マークとレンズ先端にある赤指標が合うまで、フードを矢印の方向に回して取り外します。
収納時にはフードをレンズに逆向きにかぶせることができます。



- フードが正しく取り付けられていないと、撮影画面にケラレが生じることがあります。
- フードの取り付けや取り外しをするときは、フードの根元付近を持って回してください。フードの先端付近を持つと変形して回らなくなることがあります。

8. フィルター（別売）

フィルター（Φ67）は、レンズ先端のフィルター取り付けねじ部に取り付けます。



- フィルターは1枚のみ使えます。
- 偏光フィルターはキヤノン円偏光フィルター PL-C Bを使ってください。
- 円偏光フィルターの調整をするときは、フードを取り外してください。

主な仕様

焦点距離・明るさ	28-70mm F2.8			
レンズ構成	12群15枚			
開放絞り数値	F2.8			
最小絞り数値	F22			
画角	水平65°~29°、垂直46°~19°30′、対角75°~34°			
AF時				
焦点距離	28mm	35mm	50mm	70mm
最短撮影距離	0.27m	0.32m	0.35m	0.35m
撮影倍率	0.16倍	0.15倍	0.18倍	0.24倍
画界	約220×146mm	約237×158mm	約190×127mm	約142×94mm
MF時				
焦点距離	28mm	35mm	50mm	70mm
最短撮影距離	0.24m	0.26m	0.33m	0.35m
撮影倍率	0.19倍	0.2倍	0.2倍	0.24倍
画界	約182×122mm	約176×117mm	約176×118mm	約142×94mm
フィルター径	67mm			
最大径×長さ	約76.5×92.2mm (レンズ収納時)			
質量	約495g			
フード	EW-73D (別売)			
レンズキャップ	E-67 II*			
レンズダストキャップ	レンズダストキャップRF*			
ケース	LP1116 (別売)			

主な仕様

- レンズの長さはレンズマウント面からレンズ先端までの寸法です。
付属のレンズキャップおよびダストキャップをつけたときの長さは寸法表示+24.2mmになります。
- 最大径×長さ・質量は本体のみの値です。
- *はレンズに同梱されていますが、単品でも購入できます。
- クローズアップレンズ250D/500Dは使用可能なサイズがありません。
- エクステンダーは使用できません。
- 一部のカメラ**では、このレンズを使った多重露出撮影はできません。
** EOS R, RP, Ra, R5, R6
- 連写中のズーミングで、歪みが目立つ画像が撮影されることがあります。
- 記載のデータはすべて当社基準によります。
- 使用している写真はイメージ写真です。
- 製品の仕様および外観の一部を予告なく変更することがあります。

修理対応について

1. 保証期間経過後の修理は原則として有料となります。なお、運賃諸掛かりはお客様にてご負担願います。
2. 本製品の修理対応期間は、製品の製造打切り後7年間です。なお、弊社の判断により修理対応として同一機種または同程度の機種への本体交換を実施させていただく場合があります。同程度の機種との交換の場合、お手持ちの消耗品や付属品がご使用いただけなくなることがあります。
3. 修理品をご送付の場合は、撮影された画像を添付するなど、修理箇所を明確にご指示のうえ、十分な梱包でお送りください。

キヤノンEOSホームページ

canon.jp/eos

キヤノンお客様相談センター

0570-08-0002

(つながらないときは 03-6634-4264)

受付時間〈平日/土〉9:00～17:00

(12月31日から1月3日は、休ませていただきます。)

※ 受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

Canon